

古典的ケース 23 腸チフスに悩む男性

このレメディーを使用してかなり成功した腸チフスのケースを思い出す。

猛烈な発作をおこした若い男性が、このレメディーの良い像を示していた。

私が彼を診るために呼ばれたのは、最初の週の後半だった。

彼は長い間病気に苦しんでいたが、彼は「仕事を済ませようとした」と言った。しかし、とうとう彼はそれを諦めなければならず、寝込み、医療的援助を探し求めなければならなかった。

彼の舌は非常に腫れ、まるで口の中が塞がってしまうほどであり、非常に痛んだ。

歯茎もほぼ同様の状態でわずかに出血していた。

もっと正確に言えば、血液がひどい臭いがする唾液といっしょになって歯茎から滲み出していた。

彼の口は、まるでよだれを流しているかのように見えた。

舌は白い舌苔で覆われていた。

彼の口臭は吐き気を催すものだった。

彼の肝臓は触れると敏感であった。

舌には歯の痕がついていた。

彼は頻繁に腸から粘液性の便の排泄があった。

脈拍 120、熱は華氏 104 度(摂氏 40 度)。

彼は殆どの時間眠りたがった。そして睡眠を邪魔された時、機嫌が悪くなった。

3時間おきに Rx を投与すると、彼の状態はすばらしく改善された。

もし私の記憶が確かならば、それはその病気の経過の中で彼が受け取った唯一の薬であった。

医師の中には、もっと頻繁に投薬すべきだったと思うかもしれない。しかし私の父はかつて私に、「Rx は大きなエネルギーのようなもので、作用するのがゆっくりであるが、作用し始めると、長時間効果が持続する。だから、あまり頻繁に投与することはない。」と言った。